

第2回知の市場年次大会(2010年度)

# 「防疫薬総合管理」

—世界を先導する害虫制御と防疫薬—

開講機関：日本リスクマネージャネットワーク

／早稲田大学規範科学総合研究所

連携機関：日本環境動物昆虫学会

# 世界を先導する害虫制御と防疫薬とは

- 身近な殺虫剤である蚊取り線香、電気蚊取りマット、電気蚊取り液はすべて日本の会社の発明品
- ハエ・蚊用エアゾール、ゴキブリ用エアゾール、アリ用エアゾール、ダニ用エアゾール、クモ用エアゾール、ハチ用エアゾール(ハチノック)、ヘビ用エアゾール(ハブノック)など、多彩な殺虫剤を開発し、商品化しているのは諸外国には例を見ない
- 現在、マラリア対策用としてWHOなどで高く評価されている薬剤含浸蚊帳(オリセツネット)は、日本の会社の技術で開発された
- このような多種多様な開発を可能にしたのは、これらの殺虫剤に使われている有効成分(ピレスロイド殺虫剤)の多彩さである。ピレスロイド殺虫剤はわが国が、その種類、量ともに世界を先導している

**\* 本セミナーは、これらの実際の発明者、開発者である講師から直接なまの講義が聴ける特徴的なセミナーといえる**

# 2010年度開講実績

- 2009年度は東京で開講したが、2010年度は、場所を大阪府環境農林水産総合研究所に移し、開講機関は日本リスクメネジャネットワーク／早稲田大学規範科学総合研究所となり、大阪で開講した
- 後期(2010年9月27日～2011年1月24日)に、15回の講義を実施した
- 受講者：15名(内1名は途中から参加)

# 受講者と出席状況

- 受講者：15名（うち1名は途中から受講）
  - 15回全部出席者：5名
  - 10回以上出席：全員（1名を除く）
- \* 受講者の皆さんは熱心に受講された

# 2010年度シラバス

昆虫と人間生活	1	歴史を変えた昆虫たち	安部八洲男	大阪青山大学 健康科学部
	2	害虫防除の重要性		
害虫の生態と防除	3	衛生害虫の生態とその防除策	新庄五朗	日本環境衛生センター 環境生物部
	4	不快害虫の生態とその防除		
	5	地球温暖化のリスク		
殺虫剤の化学	6	防疫薬発展の歴史とその役割	松尾憲忠	住友化学 農業化学品研究所
	7	世界をリードしたピレスロイド殺虫剤		
ベクターと木材害虫	8	ベクター防除技術:世界をリードするオリセットネット(防虫蚊帳)	伊藤高明	住友化学 ベクターコントロール事業部
	9	木材害虫とシロアリ防除		
製剤とその利用技術	10	製剤化の意義と家庭用殺虫製剤の特徴と使用方法	竹林禎浩	住友化学 農業化学品研究所
	11	防疫用殺虫製剤の特徴と使用方法		
	12	新規製剤技術		
安全性	13	防疫薬の登録	尾崎圭介	住友化学 生活環境事業部
	14	防疫薬の安全性		
総合防除	15	問題点と今後の方向	安部八洲男	大阪青山大学 健康科学部

# 2010年度に受講者募集に使用したポスター

知の市場共催講座 受講者募集



## ～防疫薬総合管理～ 世界を先導する害虫制御と防疫薬

日本が常に世界をリードしてきた防疫薬等の  
社会的役割、使用技術の改良、薬剤開発、安全性の確保など、  
充実した講義内容です。

◆ 開講日時: 2010年9月27日～2011年1月24日・15回  
18:30～20:30 (休日・年末年始を除く毎月曜日)

### ◆ 講義内容

開講日	科目	講義内容
9/27, 10/4	昆虫と人間生活	・歴史を変えた昆虫たち ・害虫防除の重要性
10/18, 25, 11/1	害虫の生態と防除	・衛生害虫の生態とその防除策 ・不快害虫の生態とその防除 ・地球温暖化のリスク
11/8, 15	殺虫剤の化学	・防疫薬発展の歴史とその役割 ・世界をリードしたヒレスロイド殺虫剤
11/22, 29,	ベクターと木材害虫	・ベクター防除技術 ・木材害虫とシロアリ防除
12/6, 13, 20	製剤とその利用技術	・製剤化の意義と家庭用殺虫製剤の特徴と使用方法 ・防疫用殺虫製剤の特徴と使用方法 ・新規製剤技術
12/27, 1/17,	安全性	・防疫薬の登録 ・防疫薬の安全性
1/24	総合防除	・問題点と今後の方向

◆ 応募資格: 年齢、性別不問  
(講義内容に関心があり、継続して講義に出席する意志のある方)

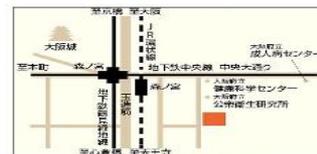
◆ 受講料: 無料・受講修了証発行

◆ 募集期間: 6月15日～ (定員30名、先着順受付)

◆ 申込み: 一般社団法人日本リスクマネージャネットワーク <http://jrmn.net/>

◆ 会場: 大阪府環境農林水産総合研究所

大阪市東成区中道1丁目3-62  
JR大阪環状線、地下鉄中央線、  
地下鉄鶴見線地線、  
「森ノ宮駅」から300m



連携機関: 日本環境動物昆虫学会

共催: 一般社団法人日本リスクマネージャネットワーク/早稲田大学規範科学総合研究所

# 2011年度講義内容予定

- 2010年度とほぼ同じを予定しているが、講師の都合などで、一部変更、差し替えを検討中である。大きな変更はない。
- 社会人セミナーの性格上、アカデミックな内容のみにはせず、一般の人たちにも興味ある内容も加えようと考えている。

# 抱負と課題

- 受講者を20名以上に増やしたい。
  - 2010年度の受講者のほとんどは業務上で害虫防除に関わっている人たちであった。
  - 2011年度は、もっと一般市民に受講者を広げたい。
- 1) その為には科目名などを判りやすくする必要がある
  - 2) 科目「防疫薬総合管理」 → 「身近な生活・環境害虫防除」  
副題「世界を先導する害虫制御と防疫薬」 → 「世界をリードする殺虫剤と害虫防除技術」への変更を提案する。
  - 3) その上で、①市役所、②図書館、③博物館、④消費者センター、⑤シルバーセンターなどへもPRしようと考えている。